

2020年4月16日 第318号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

「2020 平和といのちと人権を！憲法集会」 開催方法の変更について

2020年5月3日、東京臨海防災公園で開催を予定していた「許すな！安倍改憲発議 2020 平和といのちと人権を！5・3憲法集会」につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、さまざまな検討の結果、多くの方が集まる集会方式での開催は中止することにいたします。

ただし、5月3日（日）13時より、国会正門前での各界の何人かのスピーチをインターネットで実況中継し、全国に配信いたしますので、ぜひそれをご覧ください。

また、皆さんがそれぞれの地域で、適切な感染防止対策に配慮して、創意工夫ある表現行動をされるよう呼びかけます。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、「緊急事態宣言」をも発令したような状況にあっても、安倍首相は自民党の改憲4項目に触れて、緊急事態条項の創設は「きわめて重く大切な課題」だと述べ、憲法審査会での改憲論議を呼びかけました。全人類と日本の市民社会全体が新型コロナウイルスに立ち向かい、「いのちの確保」に全力を尽くしているにもかかわらず、その情勢を利用して危険な改憲論議を進めようとする姿勢は許されません。

新型コロナウイルス対策では、進行した症状が出るまではPCR検査を行わない、営業自粛は要請するが補償は行わない、病床の確保は崩壊の危機にある医療機関任せなど、政府の役割を全く果たさないなかで、権利制限の強化に向かおうとする安倍政権を、私たちはこのままにしておくわけにはいきません。新型コロナウイルスの感染は、私たち市民社会全体で克服していかなくてはなりません。

5・3憲法集会実行委員会は、このような情勢にかんがみ、残念ながら集会の開催を中止しますが、安倍政権による憲法改悪をくい止める取り組みは、さらに強めていく必要があると考えます。今後の行動については、現在の情勢が落ち着いていくなかで提起していくことといたします。

私たちは、平和といのちと人権を大切にして、日本国憲法を守り生かそうとするすべての人びとと共に、安倍政権に立ち向かっていく決意であることを申し上げ、今後の一層の連帯とご協力をお願いいたします。ともにがんばりましょう！

2020年4月15日

平和といのちと人権を！5・3憲法集会実行委員会
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
安倍9条改憲NO！全国市民アクション

総がかり行動実行委員会 「19日行動」は中止

16時から、有楽町・イトシア前でスタンディング

4月19日の総がかり行動実行委員会の「19日行動」は、すでにツイッターなどで周知されていますが、コロナウイルスが感染拡大しているため中止となっています。16時から予定されている有楽町・イトシア前での宣伝行動については、スタンディングでの行動を行います。

●北海道 「9の日」アクション

今だから訴えたい!今だからこそ考えたい 憲法と政治



WHOなどの発表によれば新型コロナウイルスへの感染は世界200カ国以上で140万人に広がり、死者も8万人を数えます。4月9日、季節外れの雪に見舞われた北海道、北海道憲法共同センターの定例「9の日」アクションでは、札幌PARCO前で、共同センター代表の三上友衛道労連議長、渡辺達生弁護士はじめ各界からの訴えがあり、たくさんの署名、声が集まりました。

社会のあり方、政治が問われている

「コロナ対策でたくさんの課題が現れていますが、この社会のあり方…競争に追い立てられ、効率が何より大事と言われ、強いもの、大きな会社が勝ち組とされ、中小企業や医療・社会保障がないがしろにされてきた社会のあり方が問われているのでは?」と訴えた自由法曹団北海道支部の渡辺達生弁護士。北海道高教組の尾張聡委員長は、昨日から始まった高校の新学期、高校生からも「『混み合った通学の列車、バスでウイルスをもらって、自分が家族を感染させることになりはしないか』と声が上がっている」「濃厚接触のない学校、部活って、どうすればできるか?実際は途方にくれている」「お金はかかっても、混み合わないスクールバスを求めたい。生存権保障をいま」と…。

「国難」というなら命守る病院を、予算を!

「今だから考えたいことがあります」と訴えた道医労連の鈴木緑委員長は、不安な思いを抱えながらがんばっている医療労働者の立場から、「現場では、マスク、エプロンも供給されないまま命を守る仕事に立ち向かっている。いま、必要なのは戦闘機じゃなくて病院、人工呼吸器、医師、看護師なんじゃないですか?緊急事態と言いながら病院つぶし、ベッド削減を改めようとする政府ってどうなの?国難と言うなら予算は医療、国民の命のために」と。

共同センター代表の三上友衛道労連議長は「自粛」を求めながら補償は否定という政府の「緊急経済対策」への批判も。「お配りしているビラには、皆さんのいろいろなお困りごとについての相談先一覧も付いています。一人で悩まず力をあわせましょう」と呼びかけました。

●埼玉

改憲発議反対署名 困難な中でも労働組合がんばる

埼玉土建 68,000人 「集めやすいよ」

全県下はもちろん、全国的にも牽引車的な役割を担っている埼玉土建労組は、組合員の5倍の335,000人の目標を掲げ、すでに67,600人の「安倍9条改憲NO!改憲発議に反対する全国緊急署名」を集めています。

50人分を集めた人が62人、100人分を集めた人が85人に達し、越谷支部が59%、吉川松伏支部が43%と勢いをつけています。出足早い支部では、「3000万人署名をしてもらった人をお願いするのだから、今回の方が取り組みやすい」との感想が寄せられています。

JR東労組大宮地本 困難乗り越え1,200人から

「連合」に所属するJR東労組大宮地本は、一昨年から様々な組織的困難を抱えながらも、緊急署名を1,200人から集めています。同労組は、オール埼玉の実行委員会に参加して、総行動の時には誘導係などで奮闘していただいています。

民間労組でのこうした取り組みは市民団体や地域組織にも大きな激励となっています。

「私の一言」届いています! その3

憲法共同センター「憲法リーフ」の署名ハガキが返信されて来ています。そこにある「私の一言」欄に寄せられた言葉を紹介します。

安倍政権は、政治の私物化がひどすぎます! 国民は、平和で文化的な生活を求める権利があるので! そのためにも、憲法9条は絶対に守るべきです! (福岡県・筑紫野市から)。

「コロナ禍」で大変な世の中。このような時、憲法を改悪するなどもってのほか。すべてにテタラメな安倍政権のもとで、日本が滅びるおそれがあります。地域から変えていくため、全力をあげます(秋田市から)。

戦争はたくさんの命が犠牲になることが多いから、絶対に戦争をしてはいけないと私は思います。今の世の中は、コロナウイルスの感染が拡大していて多くの方が亡くなっています。ウイルス感染も怖いですが、戦争で多くの方が亡くなるのは絶対にあってはならないことなので、一人ひとり、戦争反対の気持ちを強く持ってほしい(東京・西東京市から)。

「世界に誇れる憲法9条」。自衛隊を書き込むだけで何も変わらないのなら、何もしないでおきましょう。暮らしやすい国にするため、国民の声に耳を傾けてください(愛媛・宇和島市より)。